

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 27年												平成28年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~2日	10月 ~9日	10月 ~16日	10月 ~23日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	116	189	214	150	101	35	21	14 (16)	26
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	150	157	240	182	166	51	33	40 (46)	36
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	1	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	12	4	19	21	12	2	2	2 (3)	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	19	32	14	24	23	3	4	4 (5)	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	20	27	24	19	19	3	8	0 (1)	2
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	3	1	9	10	9	1	0	1	0
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	29	1	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第42週(10月17日~10月23日)

2 一類-二類-三類-四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	14	結核	14	2	4	2	1	3		2
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2	2						
四類	12	日本紅斑熱	5			3		1		1
		レジオネラ症	7	1		1		5		
五類全数	6	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3			1		2		
		梅毒	3					2		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第42週 10/17~10/23)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 感染性胃腸炎

定点当たり7.29人と、前週と比べてやや増加しました。また、感染性胃腸炎の集団発生が2件報告されており、注意が必要です。特に、集団生活の場では、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

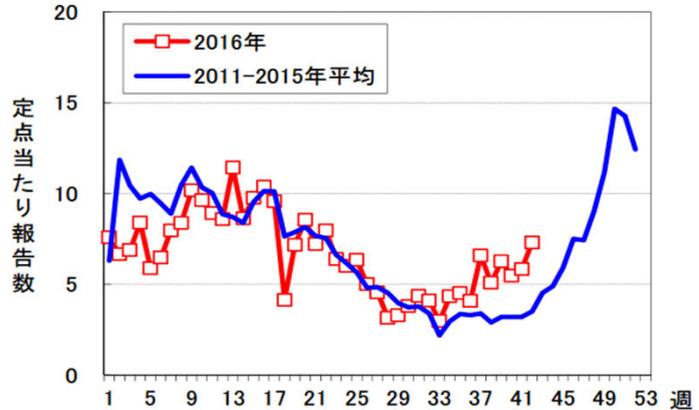
2. インフルエンザ

市内の定点医療機関から、10人(定点当たり0.27人)の報告がありました(迅速診断キット:A型陽性9人、B型陽性1人)。

3. レジオネラ症

5件の報告があり、今年の累計は18件となりました。

感染性胃腸炎の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	10	0.27	0.01	△	小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.69	△
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.30	△	眼科	RSウイルス感染症	20	0.83	0.95	△
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	1.67	1.09	△	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	△
	感染性胃腸炎	175	7.29	3.50	△	眼科	流行性角結膜炎	4	0.50	0.55	△
	水痘	6	0.25	0.63	△	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	△
	手足口病	32	1.33	0.75	△	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.09	△
	伝染性紅斑	5	0.21	0.14	△	基幹	マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.34	△
	突発性発しん	10	0.42	0.45	△	基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	△
	百日咳	-	-	0.13	△	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	△
	ヘルパンギーナ	14	0.58	0.09	△						

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	△	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	125	男性(20歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
4	日本紅斑熱	1	2	男性(70歳代)
4	レジオネラ症	5	18	男性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・市外・1人、男性(90歳代)・1人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	20	女性(80歳代)・2人
5	梅毒	2	19	男性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(37.7) 嘔吐 嘔き気 腹痛	3	女	2016/09/14	糞便	ノロウイルスG2群
手足口病	発熱(39.2) 丘疹 紅斑 口内炎	9	男	2016/08/31	咽頭拭い液	ハレコウイルス3型
百日咳	レプリーゼ	0	男	2016/09/05	咽頭拭い液	百日咳菌
その他の呼吸器疾患	発熱(38.1)	0	男	2016/09/12	咽頭拭い液 糞便 尿	コクサッキーウイルスB3型 ライウイルス
その他の呼吸器疾患	下気道炎	8	女	2016/09/12	咽頭拭い液 鼻汁(拭い液)	ライウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 咽頭炎	0	女	2016/09/15	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の疾患	発熱(38.5)	0	男	2016/09/10	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載